



平成 30 年 8 月 2 日

各 位

アイスタディ株式会社
代表取締役社長 小山田 佳裕
(証券コード:2345)東証第二部
東京都品川区上大崎二丁目 25 番 2 号
(お問い合わせ先)執行役員管理本部長 内山 富士子
電話 03-5773-5735

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 30 年 1 月 31 日に公表した平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正

平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 470	百万円 25	百万円 25	百万円 15	円 銭 7.5
今回修正予想(B)	541	30	32	21	10.76
増減額(B-A)	71	5	7	6	
増減率(%)	+15.3%	+23.2%	+29.5%	+42.7%	
(ご参考)前期実績					
29年1月1日～29年6月30日	288	△9	△8	△8	△6.61

2. 修正の理由

売上高につきましては、昨年度より販売を開始した法人向けビデオソリューション「Qumu」の、新規顧客数が着実に増加し、ストック型売上の安定的売上基盤の強化が進んでいること、また、当第2四半期累計期間において、下期に見込んでいた大規模システム案件を前倒しで受注したことにより売上高が大幅に増加し、当初予想を上回る見込みであります。営業利益および経常利益並びに四半期純利益につきましても、売上高増加により当初予想を上回る見込みであります。組織体制強化に向けた人員強化及び新たに第3の成長エンジンとして開始した「iStudy ACADEMY」事業の認知度向上のための販売促進等の追加費用を織り込んだ見通しとなっております。

なお、通期業績予想につきましては、引き続き堅調に推移する見込みであり、売上高は当初予想数値と同水準を見込んでおります。営業利益および経常利益並びに当期純利益につきましても、計画通り進捗しており当初予想からの変更はございません。

以上

本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。